

(A:目標を上回った B:ほぼ目標どおり C:目標を下回った)

＜滋慶学園高等学校の三つの方針＞

- (1)「育てたい生徒像」

○自ら学び、自ら考える力を身につけ、生涯を通じ学ぶ姿勢を身につけることができる生徒

○礼節を重んじ、思いやりの気持ちを持てる心豊かな生徒

○自主的・自律的に行動でき、地域・社会に貢献できる生徒
- (2)「学びの内容・方法」

○通信制・単位制の特色を生かし、個性を尊重し、一人ひとりの夢の実現のため多彩な専攻・コースを用意し、自分のペースで学べます

○多様なニーズに対応するカリキュラム・スクーリングを設定し、熱意と経験を備えた教師陣がしっかりサポートいたします

○きめ細かく、丁寧な面接指導・添削指導により、単位修得はもちろんの事、将来の進路をともに考え実現に向けてサポートいたします
- (3)「求める生徒像」

○志・目標に向かい努力できる生徒

○チャレンジ精神に富み、自らの限界に挑戦できる生徒

○相手の立場に立って物事が考えられる心豊かな生徒

項目	重点目標	具体的な方策	中間評価	中間進捗状況	年度末評価	年度末達成状況及び次年度への改善方策
育てたい生徒像	自ら学び、自ら考える力を身につけ、生涯を通じ学ぶ姿勢を身につけた生徒を育成する	・総合的な探究の時間の改善 ・チャレンジ講座の改善 ・ICTを活用した魅力ある授業の展開	B	各学年で総合的な探究の時間にてSDGsや環境をテーマに取り組んだ。1年次はグリーンカーテン、2年次は水耕栽培に取り組み、CO2、温暖化対策について調べた。3年次はSDGsについて調べ学習に取り組んだ。	B	年間を通じ、各学年とも総合的な探究の時間にてSDGsや環境をテーマに取り組んだ。次年度については、地域に出かけての活動を充実させたい。また、ICTを活用した活動やプレゼンテーション能力を向上させる取組を充実させていきたい。
	礼節を重んじ、思いやりの気持ちを持った心豊かな生徒を育成する。	・滋慶学園標語「今日も笑顔であいさつを」の徹底 ・コミュニケーション講座の開催 ・スクールドックを用いた講演会の開催 ・毎朝のあいさつ運動の実施	A	「今日も笑顔であいさつを」を標語にし、オリエンテーションで挨拶の励行を促した。コミュニケーション講座やスクールドックによる講演会を開催し、コミュニケーションの大切さや動物を思いやる気持ちを学んだ。毎朝、あいさつ運動を実施することにより、生徒から元気なあいさつが聞かれるようになった。	A	校内数カ所に掲示してある「今日も笑顔であいさつを」の標語について全校集会や各クラスのHRにおいて呼びかけを行うことにより、教員に対しては挨拶が普通にできるようになった。次年度においては、あいさつの指導をさらに充実させ、高校卒業後もあいさつが普通にできる生徒に育てていきたい。
	自主的・自律的に行動でき、地域・社会に貢献する生徒を育成する。	・地域貢献活動「クリーン作戦」等への参加 ・地域の文化行事への参加	A	美作市の「クリーン作戦」に参加し清掃活動を行ったり、大原公民館で開催された文化祭に参加し、地域に貢献した。	A	地域の各種行事に参加し、地域の方から評価を受けることにより、地域貢献の重要性を認識するとともに自己有用感の醸成に繋がった。次年度については、さらに地域貢献活動を充実させていきたい。
学習環境	通信制・単位制の特色を生かし、多彩な専攻・コースを用意し、生徒自身のペースで学習できる環境を整える。	・専攻・コースの学習内容の改善 ・剣道専攻生徒の対外活動の推進 ・学校設定科目の検討	A	通学5日・1日、通信コースといった自分のスタイルにあった学び方ができるコースの他、スポーツ(剣道)に特化した剣道専攻や、医療福祉について学ぶ医療福祉専攻、専門分野についても学べるコースなど、多彩なコースの運営を行っている。	A	生徒は多様化してきており、自分の学習スタイルに合ったコース・専攻に所属することにより生徒は活き活きと学習に取り組んでいる。来年度に向けて、生徒の実態に合わせた学校設定科目の新設について検討していきたい。
	多様なニーズに対応するカリキュラムやスクーリングを設定し、生徒の単位修得をしっかりサポートする。	・個に応じたスクーリング時間割の作成 ・課題を抱える生徒に対してのきめ細かい指導	B	Microsoft365 Teamsを活用したオンライン添削やZOOMによる遠隔地生徒のサポートを行った。ICT教育委員会を開催し、オンライン教育の充実化に向けて取り組んだ。特別支援コーディネーターと連携し、課題を抱える生徒には個別のスクーリング計画を作成した。	B	生徒の実態に合わせたカリキュラムやスクーリングを実施し、生徒の単位修得に向けて全教職員で取り組み、ほとんどの生徒が単位修得することができた。特別に支援を要する生徒が増加してきているので、特別支援教育コーディネーターと連携し、来年度の支援体制の充実について検討していきたい。
	生徒の進路希望の実現に向けて、きめ細かくサポートする。	・進路の手引きの改訂 ・企業ガイダンスへの参加 ・職業体験セミナーへの参加	A	進路の手引きを改定し、進学や就職に関する手続きを生徒・保護者に分かりやすく示すことができた。津山市で開催された企業ガイダンスや大阪で開催された職業体験セミナーに参加させ、進路選択のための情報を学ばせることができた。	A	改定した「進路の手引き」を活用し、生徒の進路希望の実現に向けて全教職員で取り組んだ。ほとんどの生徒が進路希望を実現させ、保護者の方にも満足していただいた。来年度に向けて更に進路指導体制を充実させていきたい。
広報活動	積極的に広報活動を推進する。	・オープンスクールの実施 ・入試対策セミナーの実施 ・中学2年生対象イベントの実施 ・SNSやブログ等による情報発信	A	教科の内容に関する体験や専門学校の教員による体験実習を含むオープンスクールを実施し、参加した中学生や保護者に本校の魅力を理解していただいた。XやInstagramによる情報発信を頻繁に行った。	A	オープンスクールの参加者等の来校者数は昨年度より増加し、入学者数も増加した。XやInstagramによる情報発信数も昨年度より増加した。本校の魅力を最大に発信する広報活動について今後検討していきたい。
	地域に根差した広報活動を実践する。	・小学生対象ロボット工作教室の実施 ・中学生対象プログラミング教室の実施 ・中学生対象オンライン授業の実施 ・美作市広報紙における本校紹介	B	学校認知に向け、小学生を対象としたロボット工作教室や、中学生を対象としたプログラミング入門セミナーを実施した。地元行政の広報誌に隔月で学校の取組を掲載していただいている。中学校の不登校生対象の授業動画を作成し配信する準備を進めている。地域のケーブルテレビや新聞社に、学校行事・イベントの取材・発信して頂いている。	B	美作市の広報誌に隔月で学校の取り組み紹介を掲載してもらったり、地元のケーブルテレビで本校の取り組みが数多く放送されるなどして、地域の方の本校の認知度は向上した。来年度においては、地域に出かけて行つての活動を更に充実させ、地域に根ざした学校となるよう取り組んでいきたい。
安全・安心な学校	交通ルールの遵守と生活マナーの向上を図る。	・交通安全教室の開催 ・非行防止教室の開催	B	地元警察署の協力のもと、交通安全講習会や非行防止教室を開催し、交通安全や安全に生活を送る方法について学んだ。	A	地元警察署に講師をお願いし、交通安全講習会や非行防止教室を開催し、交通安全や生活安全について学ぶことができた。今年度においては、大きな交通事故や非行等もなく終わることができた。来年度においても継続させていきたい。
	健康・安全・防災教育を推進する。	・防災避難訓練 ・食育講座の実施	B	地元の栄養委員、愛育委員会の協力のもと、食育講座を実施し、健康管理の意識と栄養教育を実施した。防災・防火訓練は地元消防署と連携し、スモッグ体験の実施等を行い、防災について学んだ。	B	食育講座については予定どおり実施し、食育や健康管理について学ぶことができた。防災・防火訓練は地元消防署と連携し予定どおり実施し、防災について学ぶことができた。
	安全・安心で快適に学習できる環境づくりを推進する。	・校舎・施設設備・環境の安全点検の実施 ・危機管理マニュアルの改訂 ・学校安全計画の作成 ・学校薬剤士による校内点検	A	職員の施設設備の点検の他、学校薬剤師と連携し、光環境測定やCO2濃度測定、また月1回、管理者による施設設備の点検を実施している。害虫点検、消防設備点検、電気設備点検、水質点検を実施している。危機管理マニュアルを改訂し全教職員で共有した。	A	施設設備の点検や環境測定やCO2濃度測定、また月1回、管理者による施設設備の点検は予定どおり実施し問題はなかった。危機管理マニュアルを改定することができたが、来年度はさらにその内容を充実させていきたい。